

日本語コース オリエンテーション

新入生向け

言語教育センター 寺嶋弘道

本日の目的

ポイント

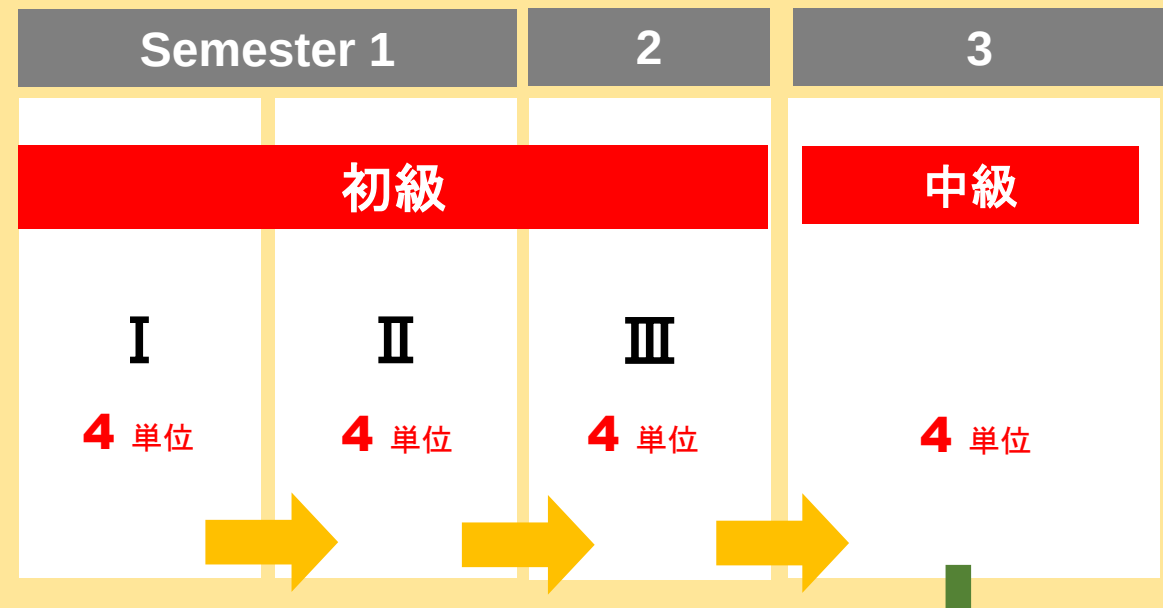
- ・ 日本語コースが取れることを知ってもらう
- ・ 日本語コースを紹介し、関心を持ってもらう
- ・ 入学後も、日本語レベルの向上を目指す気持ちを持ってもらう

日本語基準学生の声

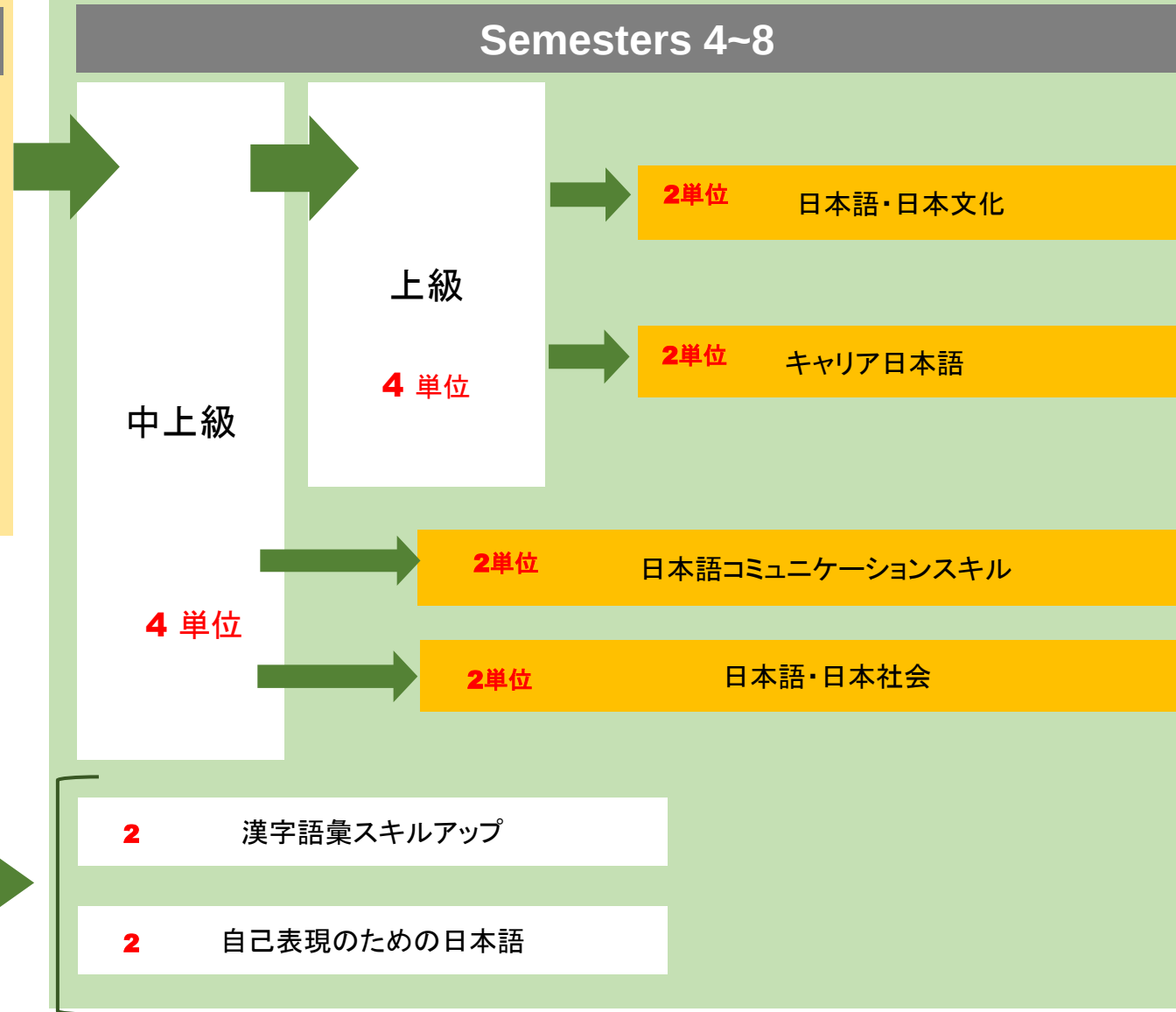
日本語に関する悩み

- ・まだ、日本語でレポートを書いたり難しい漢字が多くて日常生活がちょっと不便
- ・いつも資料となる論文などを読むスピードが遅すぎると思う
- ・日本語の能力は日本人に比べて、まだ大きな差があるから、大学でちゃんと勉強できるようになりたい。
- ・まだまだ知らない漢字と表現がたくさんあるので、勉強を続けたい。
- ・ちょっと難しい話題になると、それについて話すのが難しい。
- ・もっと正しい言い方でみんなとコミュニケーションしたい。

必修コース



選択コース



日本語コースの目標

言語運用能力

- ・ フォーマルな文体で、わかりやすい構成で文章を書く力
- ・ ディスカッションをする力
- ・ 相手に伝わり、関心を持ってもらうようなプレゼンテーションスキル、スピーキングスキル
- ・ 文章の読解力 ★生の日本語：（例）WEB新聞、政府の報告書、企業情報

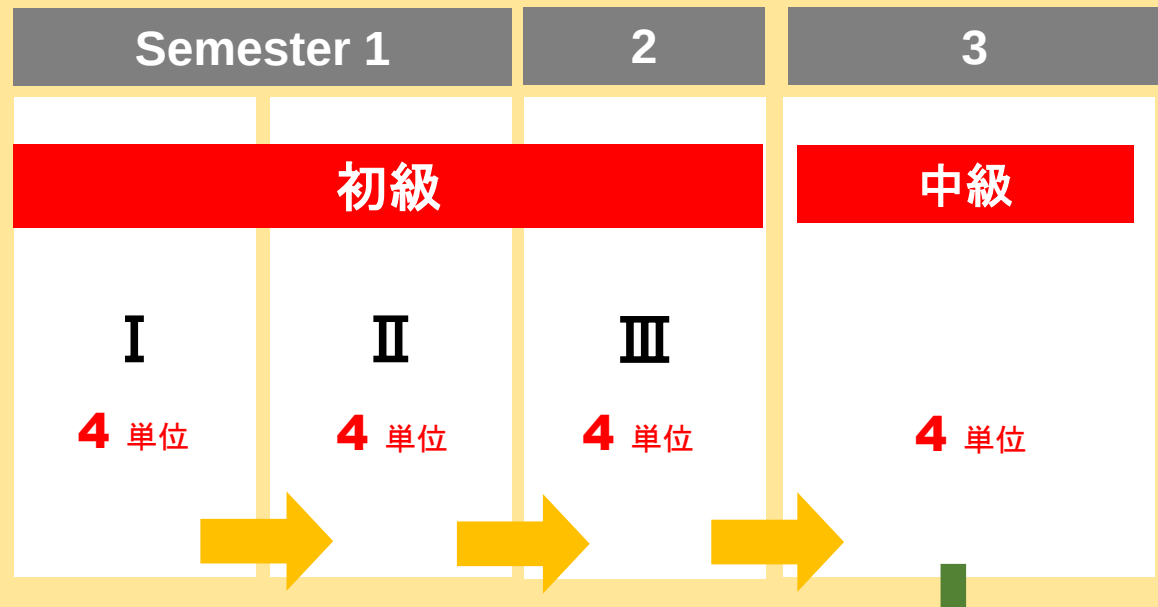
異文化間能力

- ・ 他者の考え方や価値観の違いを理解し認め合いながら、日本語で協働して課題に取り組む力

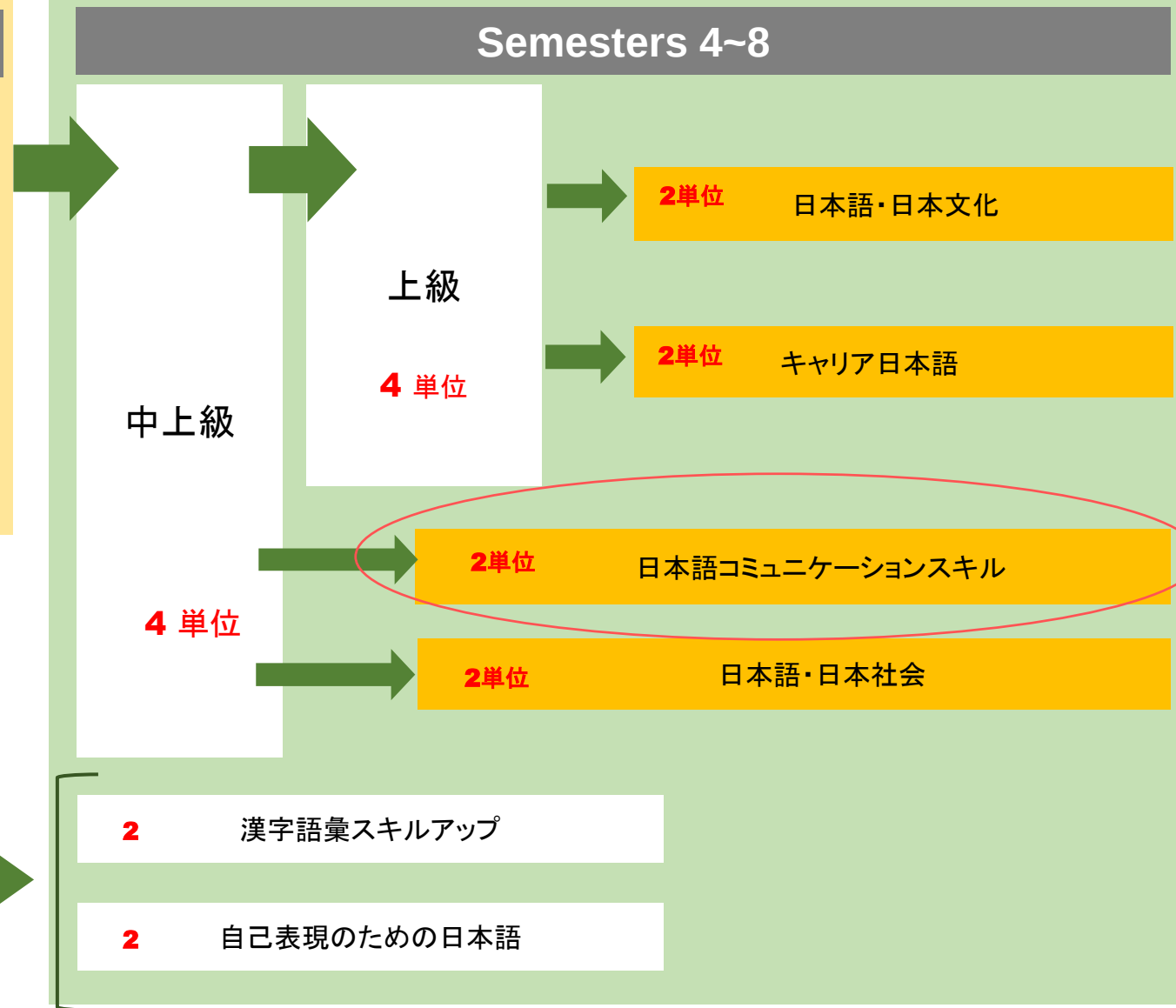
自律学習能力

- ・ 能動的な学習態度で学んでいることを深めたり、広げたりする力

必修コース



選択コース



日本語コミュニケーションスキル

- ・ 英語クラスといっしょに学ぶクラス
- ・ 英語と日本語で授業に参加する。そのため日本語力だけでなく、英語力も準上級レベル（Upper-Intermediate English）が望ましい

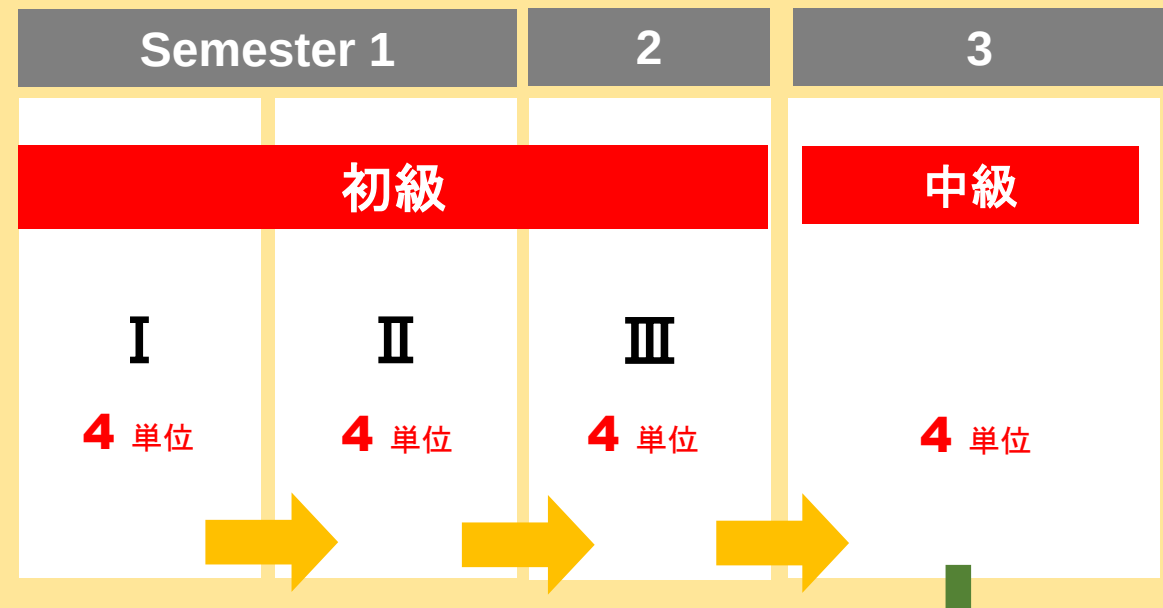
第1クォーター【昔話】

- ・ 異なる国や地域の昔話を読み、内容を理解し、批判的な視点から比較・分析
- ・ 昔話の背景にある、文化、歴史、価値観、社会問題など、様々な側面について調べ、ディスカッション
- ・ 昔話に込められた教えやメッセージに関連する自分の経験や考えをクラスメートと共有

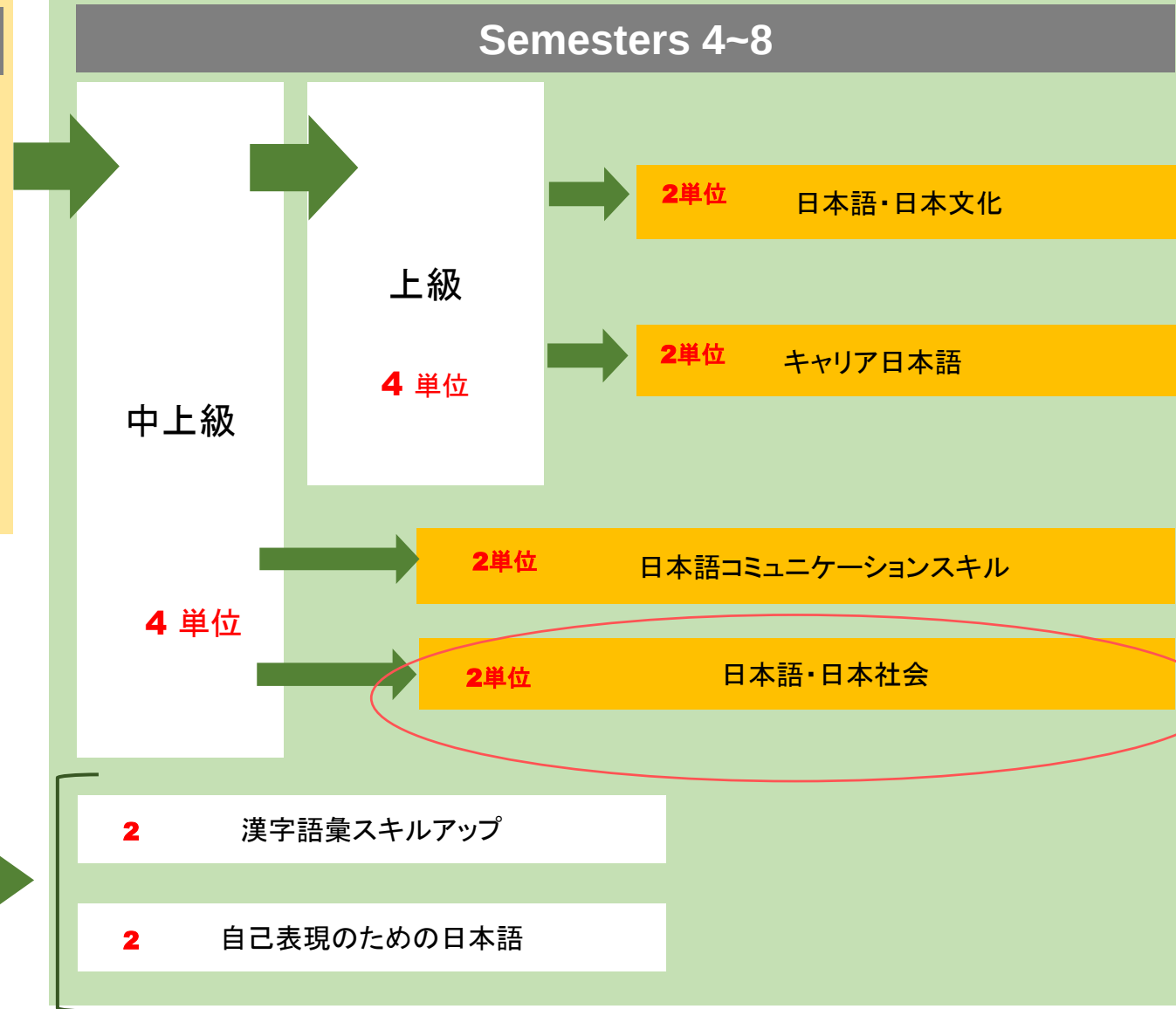
第2クォーター【ライフヒストリー】

- ・ 自分の価値観を大きく変えた出来事とそのときの感情、その後の変化など、自分を表現
- ・ クラスメートとの対話を繰り返しながら、自分のライフヒストリーを完成
- ・ 発表、ビデオなどによって、自分のライフヒストリーをクラスメートと共有

必修コース



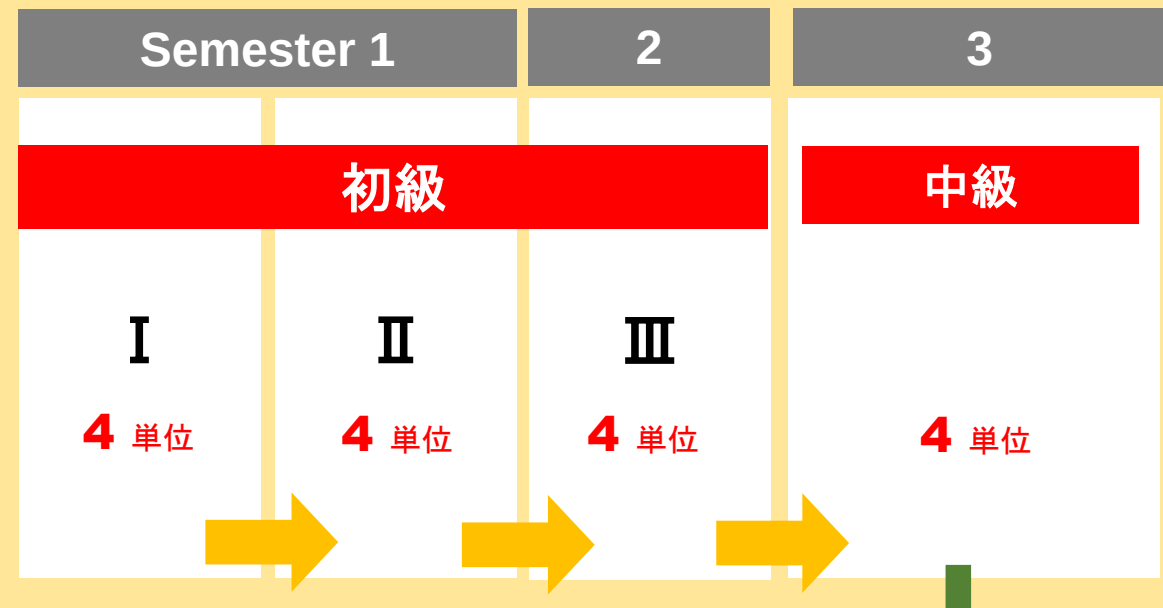
選択コース



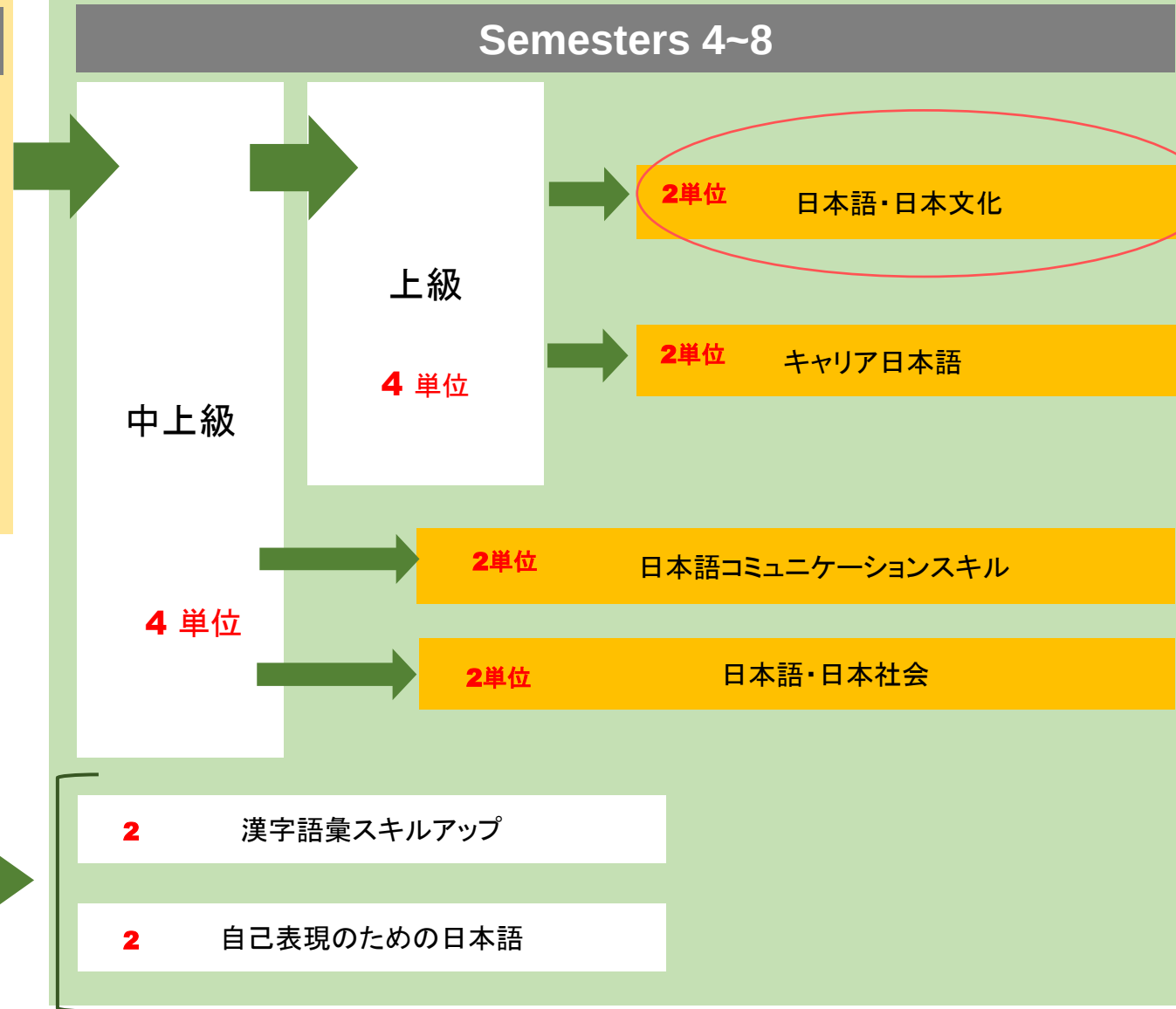
日本語・日本社会

- ・新聞、テレビ、ドラマやアニメーションなど生活で目にするものが教材
- ・そのテーマに対する自分自身の考えをまとめ、クラスメートと共有して、ディベートしたりディスカッションをしたりする
- ・テーマは「ジェンダー平等」や「働きがいと経済成長」
- ・情報を「考え、判断する」という「批判的読解力」を身につけることを目指す
- ・話す力が中心に評価される

必修コース



選択コース



日本語・日本文化

担当：住田環

sumida55@apu.ac.jp

- ・火と金の5限
- ・「見える文化」「見えない文化」という観点から日本文化を考察。
同時に自分の中にある無意識に形成されてきた文化についても考察。
- ・自分とは異なる文化背景を持ったクラスメートと協働し、課題に取り組む
- ・テーマをグループ、自分で設定し、学んでいく
- ・評価方法は以下のとおり。

積極性：5%

課題（宿題の提出とその内容、振り返りなど）：20%

クイズ（擬態語・ことわざなど）：15%

プレゼンテーション（グループ・個人）：30%

中間試験（言語知識・表現・作文）：15%

期末試験（言語知識・読解・作文）：15%

<第1クォーター>

第1週 オリエンテーション・「日本文化」のイメージ

第2週 クラスメートの「日本文化」のイメージを共有、マインドマップを作る

第3週 文化とは何か、を考える、グループプレゼンテーションのチーム作り、グループプレゼンテーションのテーマを決める

第4週 プレゼンテーションのテーマに沿った調べ学習、意見交換

第5週 グループプレゼンテーション準備 ＊第5週までに言語知識として擬態語の学習

第6週 グループプレゼンテーション

第7週 グループプレゼンテーション、振り返り、中間試験

<第2クォーター>

第8週 「自文化」への意識、自分のアイデンティティについて考える

第9週 クラスメートそれぞれの「自文化」へのイメージを共有

第10週 個人プレゼンテーションのテーマを決める、意見交換

第11週 それぞれの発表テーマに沿った調べ学習、意見交換

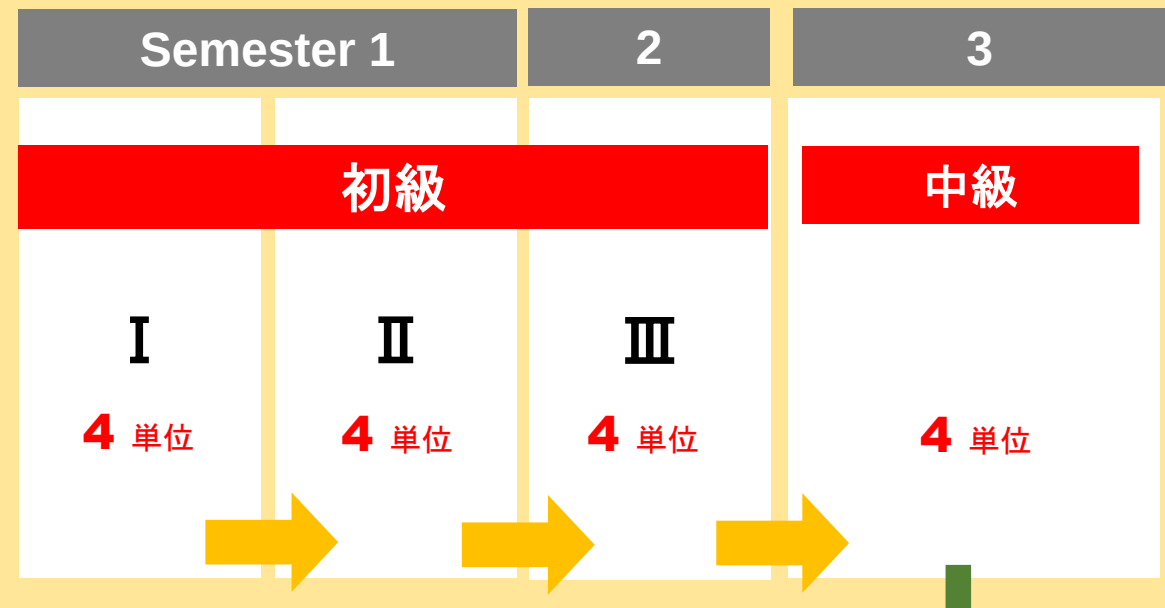
第12週 個人プレゼンテーション準備 ＊第12週までに言語知識としてことわざの学習

第13週 個人プレゼンテーション

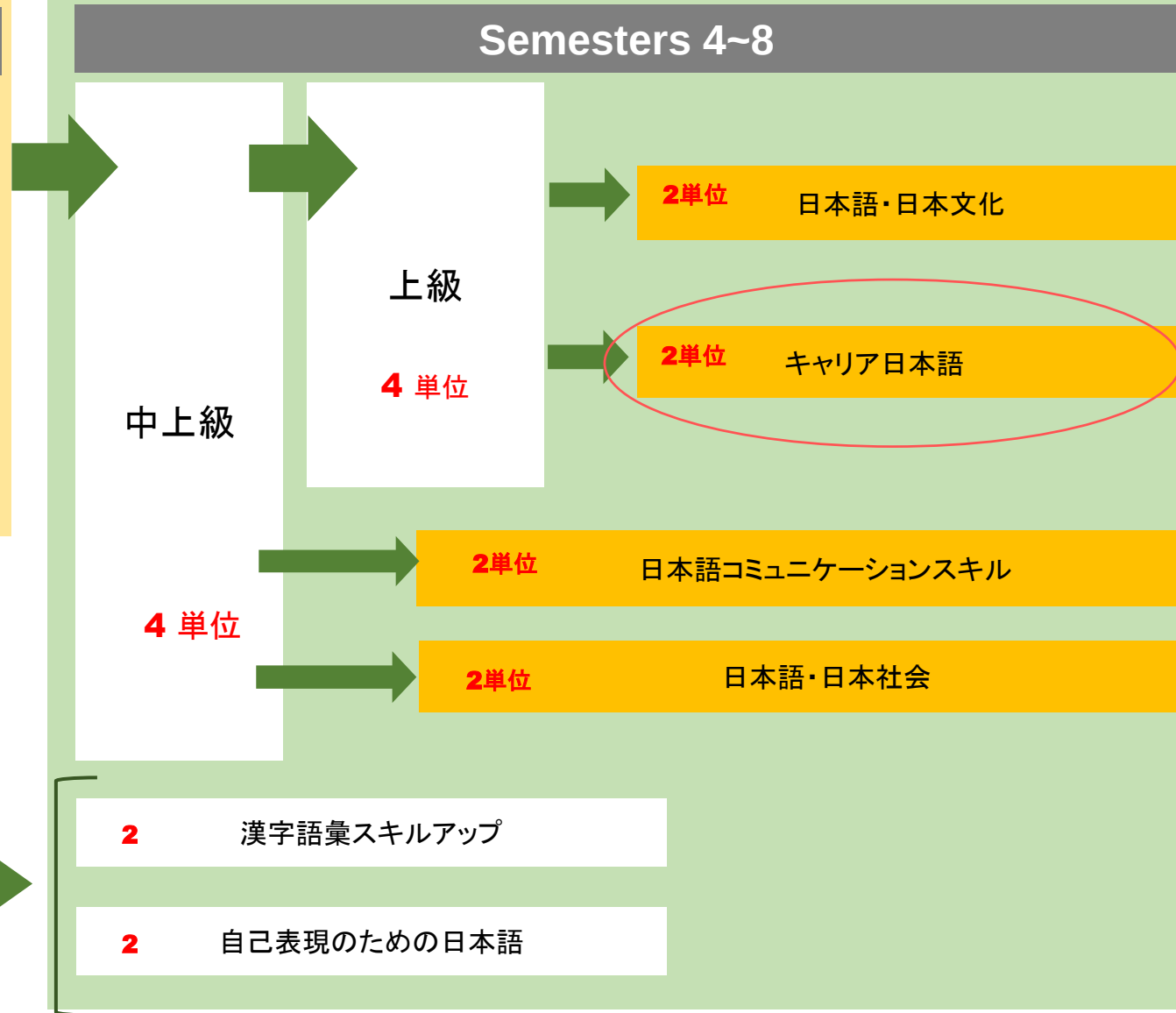
第14週 個人プレゼンテーション、振り返り

第15週 期末試験

必修コース



選択コース



キャリア日本語

担当：伊藤俊也

- ・ 月火木金の2限、4単位
- ・ 自分のキャリアを考えるタイミングで取るコース、5～7セメスター目に取るべき科目
- ・ 就職活動という場面で適切かつ効果的に日本語を運用する力の習得
- ・ 日本企業への就職を目指す人に求められる日本語力を身につけ、並行して就職活動、企業文化についての知識・理解を深めていく。
- ・ 評価方法は以下のとおり。

模擬面接（会話試験）：26％

プレゼンテーション（業界研究とグループワーク）：10％

面接・発表のパフォーマンスの振返りと改善（ペア・グループワーク）：5％

課題（作文、ワークシート、メール、履歴書、活動成果）：35％

クイズ（漢字語い、メール、動画理解（要約）：8回実施）：12％

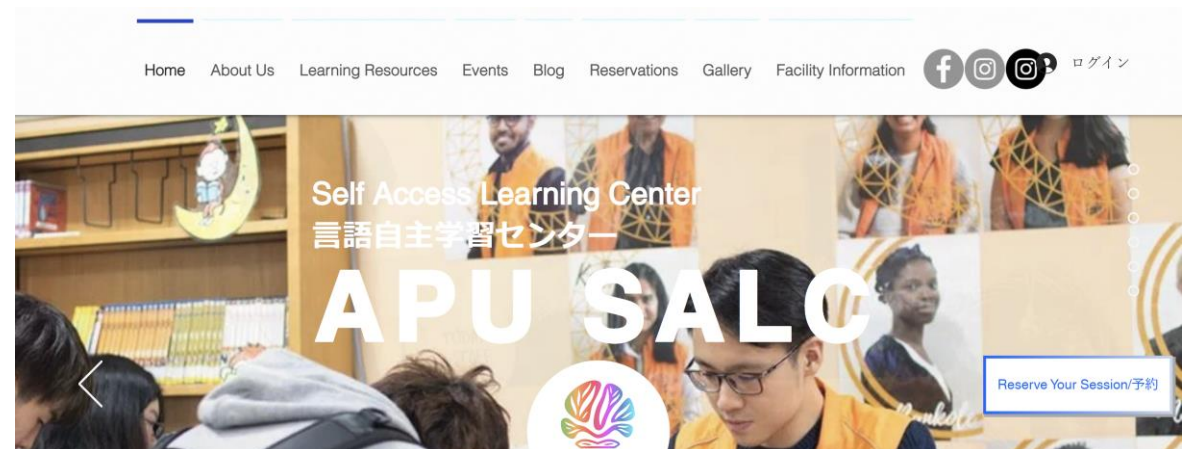
期末試験：12％



SALCによるサポート

言語アドバイザー（火・金）5限、1回30分

- ・自分の日本語学習の問題をシェアし、その改善法を考える
- ・1回だけ行くものではない。問題を考える→プラン→アクション→問題を考える→プラン→アクションということを繰り返すなかで、何度も言語アドバイザーと会う
- ・自律学習能力を高める



<https://salc82.wixsite.com/apusalc>

APSの場合

JST：英語初級
始まり

科目分野		必要単位数	小計	合計
英語初級 始まり 共通教育 科目	英語科目	24	40	124単位 以上
	[CSM] 共通教養科目（必修）	2		
	[GE] 共通教養科目（必修）	2		
	[IR] 共通教養科目（必修）	2		
	共通教養科目	10		
	言語教育科目および共通教養科目	0		
APS専門 教育科目	選択した学修分野の専門教育科目	34	62	
	卒業研究Ⅱ	2		
	専門教育科目	26		
他学部科目		0		
要卒集計外科目		0		

まとめ

- ・ 日本語基準で入ったからといって、英語だけ勉強すればいいわけではない。日本語で講義を受けるなら、日本語力の向上も必要。
- ・ APUでは日本語基準学生に対しても日本語学習の機会を提供
- ・ 自分の状況に合わせてサポートを利用することが必要
- ・ どうすればいいか困ったら、言語アドバイザー、オフィスアワーも活用して、日本語の先生に相談もできる